

2013年3月6日

報道関係各位

カプスゲル・ジャパン株式会社

カプスゲルが Encap Drug Delivery (エンカップドラッグデリバリー) の買収を発表

買収によりカプスゲルの Dosage Form Solutions (DFS) 事業部門の液体製剤に関する専門領域が拡大し、FDA 認証取得の製造施設が追加されます

Morristown, N.J. and Livingston, Scotland (2013年3月1日) – カプスゲルは本日、Encap Drug Delivery の買収を発表しました。スコットランドに拠点を置く Encap は、液体および半固形物のカプセル化をベースとする製品開発、ならびに製薬業界向け臨床試験および商業生産を主な事業としています。今回の買収により、カプスゲルは、ヘルスケア業界向けの革新的な製品を開発・製造するため、新たに設立した事業部門 Dosage Form Solutions (DFS) を強化いたします。

カプスゲルのプレジデントおよび CEO であるギド・ドリーセンは、「Encap の能力および製品・サービスは、油脂ベース処方による液体製剤およびターゲットリリースカプセルに特化する弊社の DFS 事業部門と見事に合致しています。今回の買収により DFS のビジネスが加速し、液体充填ハードカプセル製剤における弊社のリーダーシップがさらに強固なものになるでしょう。」と述べました。

カプスゲル DFS の社長であるアミット・パテルは、「DFS と Encap が連携することにより、弊社の技術、製品開発能力、および製造施設が拡張し、ひいてはバイオアベイラビリティ、安定性、ドージングとデリバリー、および開発期間全体の短縮などの分野においてヘルスケア製品を向上させる可能性が高められると考えます」と付け加えました。

Encap は、FDA および MHRA 認証取得の医薬品開発および製造施設を有し、高活性薬物に対応する設備を備え、研究ラボから臨床試験までのプロセスを加速させる臨床ファストトラックプログラムを確立しています。さらに、Encap 独自のターゲットリリース技術 (DuoCap™ と ENCODE®) および不正使用防止技術 (Abusolve®) が、カプスゲルがこれらの領域で展開している一連の製品群に加えられることになります。

現在、カプスゲル DFS の油脂ベース液体製剤技術には、特許取得の Licaps® 液体充填カプセル、ソフトカプセル、固体油脂ペレット、およびお客様が油脂ベース液体製品の開発を加速することができるソフトウェアなどがあります。また新たなターゲットリリースに関する技術には、異なるタイプおよびレベルで制御されたリリースデリバリーを可能にする特殊なカプセルが含まれます。

Encap Drug Delivery の CEO であるステファン・ブラウン博士は、「カプセルによる今回の買収により、弊社の製品およびサービスはグローバル化を遂げるでしょう。Encap が注力している液体充填技術により、バイオアベイラビリティの向上とドラッグデリバリーをさらに展開することができ、弊社は、ハードカプセルと油脂ベースの液体剤形開発および製造における業界のリーダーであるカプセルの一員になったことを光栄に思います。」と述べました。

カプセルについて

カプセルは、ヘルスケア業界に革新的な剤形とソリューションを提供するグローバルリーダーです。ハードゼラチンカプセル、液体充填カプセル、植物由来カプセルから、製品の研究開発、特許取得の技術、および商業生産のソリューションまで、幅広い製品およびサービスを提供し、初期の処方設計から製造に至るまで、お客様に徹底したサポートを行うイノベーション企業です。詳しくは、www.capsugel-jp.com にアクセスしてください。

###

本件に対するお問い合わせ先： マーケティング 今井

Tel: 042-700-6700

E-mail: marketing.cj@capsugel.com